

WITH

Arisawa communications magazine

[巻頭インタビュー]

リーダー×対談

総合ケアンネットワーク(株)代表取締役社長

有澤建設(株)代表取締役社長

松尾 幸靜氏 × 木下 英資氏

vol.07



[住宅型有料老人ホーム]

みどりの風

[有澤建設の活動をご紹介!] ARISAWA TOPICS

◎有澤建設委員会活動 ◎美しい家色

[お家探訪記]

生活時間の異なる親子2世帯が、
ともに快適に住まえる住宅

<http://www.arisawa.jp/>

arisawa

WITH
vol.07

発行日 2013年6月11日

発行 有澤建設株式会社 福岡市博多区博多駅前4-4-12



美しい家色

vol.7

アルベロベッロの『トゥルツリ』
庄政から生まれた「壊すための家」が世界的名所に

年間100万人以上の観光客が訪れる世界遺産、アルベロベッロ(南イタリア)

の「トゥルツリ」。なんがつ屋根がズラリと並ぶ可愛らしい景観だが、実はこの形状は400年以上前、庄政に苦しめられた人々の、やむにやまれぬ事

情から生まれたものだ。

15世紀末のアルベルゴ地域は、スペイン軍の侵攻を受けたナボリに支配され、「家一軒ごとに重税が課せられていた」。人々は役人が調査に来た時だけ屋根と壁の一部を壊し、家では無いように見せかけて税金を逃れていた。たとえば、役人が調査に来たら、石灰岩ブロックを積み上げて部屋を造り、同じくドロップを積んで屋根をかける。積み上げやすく壊しやすい。積み木の家。その形状が、「歴史を伝える建

造物」として世界遺産の認定を受けた。

同じく世界遺産認定を受けた、岐阜県白川郷の「合掌造り」の集落。この地の場合は豪雪に耐えながら室温を保ち、雪に閉ざされる季節も、屋根裏の空間で養蚕などを営めるようにするため、急勾配の屋根を持つことになった。

京都に残る「町家造り」も、商人の街ならではの、職住一体の暮らしを反映した形状であり、赤瓦にムチ(漆喰)を塗つて平たい屋根をかける。沖縄独自の「琉球寄棟造り」も、台風から家屋を守るために形状に他ならない。トゥルツリに限らず、伝統的な建物の形状は、その地域ならではの風土や史実を後生に伝える、雄弁な「語り部」と言ふべきだ。

「壊すための家」に見られる生き延びる知恵

トゥルツリの随所に、人々の生きる知恵が注がれている。例えば円錐形の屋根は、雨水を集め生活用水にするため、この形状になったと伝えられている。石灰岩のブロックを漆喰で塗り固めた白壁も、南イタリアの強烈な紫外線を遮断するのに役立った。スペインによるナボリ支配が終わって後も、「壊すための家」が大切にされたのは、生きる知恵が注がれた、意外に快適な住宅だったからかもしれない。

先ごろ、西鉄下大利駅近くに竣工した住居型有料老人ホーム「みどりの風」。この施設は、新会社「総合ケアネットワーク」が、有澤建設に設計・施工をオーダーした物件。施工した有澤建設にとっては、建築用地を探していた総合ケアネットワークと、土地の運用について検討中だった地主様とを仲介した、提案型の新築物件です。パートナーとして有澤建設を選ばれた総合ケアネットワークの松尾 幸静社長と、有澤建設の木下 英資社長に、高齢者向け施設の今後の展望などについてうかがいました。

総合ケアネットワーク(株)

代表取締役社長

松尾 幸静氏 × 木下 英資氏

有澤建設(株)

代表取締役社長

リーダー×対談

病院に入院できない高齢者のための「受け皿」となる施設が必ず必要になる

— 総合ケアネットワークさんは、医療機関のトータルサポートや調剤薬局の展開を図つて、「総合メディカル」の子会社ですね。從来とは多少路線の異なる事業をスタートされた理由は

松尾 現在、日本の年間国民医療費は約38兆円で、このうち約33%が後期高齢者75歳以上(の医療費で占められています)。

実際、慢性疾患の看護を受けるため、病院に長期入院しておられる高齢の方々は、毎月平均8~9万円ほど支払っておられます。高齢者医療は1割負担なので、緊急治療の必要がない高齢者の方

に、「一人あたり70~80万円の差額を国が支出しているということです。

ご存知のように、高齢化は急速な勢いで進んでおり、2025年には後期高齢者人口が現在の2倍になる見込みです。医療費を使う人が増えて負担する人が減るのですが、医療保険制度を抜本的に

改革せねば、いずれ制度自体が破綻するは

明らかですね。

現在でも医療側の体制は、

急性期治療が必要ではない高

齢者を入院させない方向に進

んでいますが、この体制がさら

に徹底されるようになれば、

「急性期治療は必要ないが、常

運営母体が信頼のおける 会社でしたからオーナーさんにも 自信を持つてお勧めすることができました。

有澤さんにあつて当社には、
地主さんとの「絆」。

これからも、大いに力を貸していただきたい。

に見守っていた方が安心」という後期高齢者の受け皿がなくなってしまうでしょう。そうした観点から、高齢者向け施設の展開運営を専門的に手がける新会社を設立することになりました。

— 有澤建設にとっても「住居型有料老人ホーム」の新築は、珍しい物件だったのでは

りさせるために、様々な情報を集めました。

これから時代、高齢者向け施設は否応なく増えしていくでしょうから、当社としても良い機会だったと言えます。

松尾 富裕層向けの豪華マ

ンションタイプから、認可基準

ぎりぎりのグループホームま

で、住宅型高齢者向け施設は

まさに千差万別です。ただ、

設しました。

我が国の世帯構成として開

倒的に多いのは、いわゆる「ミドルクラスの人々であり、一般的な年金額で生活できる有料老人ホームへの入居ニーズが、最も多くなるでしょう。そこで「みどりの風」は、食費・医療費込みで15万円程度に抑えられる、まさにミドルクラスのための施設として開設しました。

総合ケアネットワーク(株)
代表取締役社長
松尾 幸静

Profile

昭和53年、総合メディカルの前身である(株)総合メディカル・リースを、小山田浩定氏(現・取締役相談役)、金納 健太郎氏(現・取締役副会長)らとともに起業でした。

ただ、今回の物件は、土地運用を検討中の地主様に対する提案物件でしたから、技術的な困難な部分はありませんでした。

木下 バリアフリーの分譲住宅や診療所の新築には何度も携わっていますし、高齢者施設に関するある程度のガイドラインも、自治体の条例などで決まっていますから、技術的に困難な部分はありませんでした。

ただ、今回の物件は、土地運用を検討中の地主様に対する提案物件でしたから、「どのような高齢者施設を提案するか」という方針をはつき

有澤建設(株)代表取締役社長
木下 英資

Profile

JR西日本勤務を経て平成13年、「取締役社長室長」として有澤建設に入社。平成22年専務取締役に就任し、翌年、代表取締役社長に。

リーダー×対談

が、近年は、有料老人ホームや福祉施設を建みたいとおっしゃる地主さんが増えています。やはり、地主さん側も高齢化が進んでいますから「先祖代々の土地を地域貢献のために活用したい」という気持ちが強くなるのでしょうか。

その点でも、総合ケアネットワークさんのようないしかりした会社と、地主さんとの、橋渡しを増やしたいと考えて



オーナー様から
お喜びの声を
いただきました

色々な会社から、幾通りもの提案。
最も一番に納得できたのが「みどりの風」でした
土野城市在住、T様

下大利駅近くの私有地を、先代から月極駐車場として運用しておられた、大野城市的T様。市が進める再開発事業に用地の一部がかかり、駐車場を廃止して他の活用を検討しておられたところに、有澤建設が住居型有料老人ホーム建設を提案しました。「色々な会社から資産運用プランの提案をいただいており、正直なところ、どれが一番良いのか判らなくなっていたんですよ」とT様。しかし、「自分たちも、ひょっとするとお世話になるかもしれない、これから日本に必要な施設」という意義、さらに施設を運営する母体企業の信頼性などから、「みどりの風下大利」の建て貸しを決心なさったそうです。「数社の説明を聞きましたが、詳細な部分まできちんと説明してくれる有澤さんの姿勢に、「よし、まかせよう」という気持ちになったんです」(T様)と、嬉しい評価をいただきました。

「地域貢献」へ
者施設地主側の二一ズも
「高齢者向け施設」の可能性は
—土地活用の觀点から見た

木下 これまで取り扱った中で、最も多かったのは賃貸マンションです。当社もそうした一icusに合わせ、用地の広さや立地条件などにマッチしたワンルームマンション、ファミリーマンスなど

自信を持つて勧められるプランを
「地域貢献」を願う地主様に提案し、
お役にたつてもらいたい

松尾 「医療」と「介護」には切り離せません。住宅型有料老人ホームは、その『つなぎ役』だとおもえます。その分、どのような運営を行なうかは会社によってバラバラで、中には、入居者にとって良好な環境とは言い難い施設があるのです。そこで、そのような施設運営を進める計画ではあります。そのためには、立地条件や周辺環境が重要なポイントであり、土地情報や地主さんとの絆をしっかりとつけておられる有澤建設さんは、これからも力を貸していただきたいと考えています。

松尾 「医療」と「介護」とは切り離せません。住宅型有料老人ホームは、その『つなぎ役』だと見えます。

その分、どのよくな運営を行なうかは会社によつてバラバラで、中には、入居者にとって良好な環境とは言い難い施設があるのも事実です。

私たちも、看護師としての歴史を持つスタッフを施設長に起

て行なうけるような施設運営を進める計画です。そのためには、立地条件や周辺環境が重要なポイントであり、土地情報や地主さんとの縁をしっかりと持つおられる有澤建設さんには、これからも力を貸していただきたいと考えています。

安心・安全、そして清潔なのは当然のこと
重要なのは、「どんな運営をするのか」
そのために、立地条件は大きな要素になる

The image shows the exterior of a modern university building. The building has a dark grey facade with large glass windows and doors. A green horizontal band runs across the upper part of the facade. In front of the building is a landscaped area with a small tree, red flowers, and a yellow curved path. A white sign on the right side of the entrance reads "Asia University Taiwan" in English and Chinese characters.

立地条件に恵まれた下大利で中・長期的な事業目標の「基盤」を
「みどりの風 下大利」と同時に進行で、複数の施設をオーナーに譲り受けられるそうですね

識が高まりました。
設計・施工の面では、決して
他社にひけを取らない自信を持っていますが、土地活用のため、建て貸しをされる地主様との対して、責任を持つて提案できる内容かどうか…という点で、事業主の経営状態や事業実態をしっかりと確認せねばなりません。

そういう面でも今回は、上場企業である総合メディカルさんが母体なので、自信を持って取り組みました。



採光性の高い、明るく清潔感溢れる「みどりの風」のラウンジ(食堂)。毎日の食事や入居者同士の団らんを楽しめる、くつろぎのスペースだ。



24時間・365日、入居者が安心して暮らせるように、緊急医療体制はもちろん定期的なケアサービスを受けられる体制を整えている。

心と身体の万全サポートと まごころのこもったサービスを提供

大切なのは、「安心・安全」であること

point.1

明るく清潔な食堂や
ラウンジが
くつろぎ感を高めます

大きめの窓から、たっぷりの日射しが入る食堂およびラウンジは、入居者の皆さんが毎日の食事や団らんを楽しむためのスペース。だから、常に「清潔」であるのはもちろん、室内の移動がスムーズなように、家具や備品の配置ひとつにも充分に配慮しています。



住宅型有料老人ホーム

みどりの風



「豪華さ」をアピールする高齢者向け施設は、たくさんあります。でも、本当にくつろぎながら毎日を過ごしていただくためには、豪華さよりも真心のこもったサービスの方が大切だと、「みどりの風」は考えています。



point.2

地元の食材を中心に
「食べる」喜びを提供します

我が家のようにくつろぎで毎日を過ごしていただくには、地元の食材を中心に「食べ慣れたもの」を提供することが重要だと、私たちは考えました。もちろん、きざみ食やミキサー食、塩・糖分調整食など、それぞれの入居者様の健康状態に合わせた食事を準備いたします。



point.3

介護度が高くなった場合も
想定して備えています

手すりや椅子はもちろんのこと、特殊入浴やシャワー浴の設備も完備。介護度が高くなり、自力での入浴が困難になった場合を想定した設備と、充分なトレーニングを積んだスタッフが、入居者の皆さんの毎日をサポートします。



ご利用料金

敷金(入居時費用)	—— 100,000円
家賃	—— 50,000円
食費(税込)※1	—— 45,000円
管理費(税込)※2	—— 20,000円
合計	—— 115,000円

※1 1食あたり500円/1日3食30日計算
※2 管理費には、共用施設等の維持管理費、事務費、光熱水費等が含まれます

介護保険サービス

介護保険サービスの利用につきましては、利用状況に応じて自己負担額(1割)を請求させていただきます。

施設概要

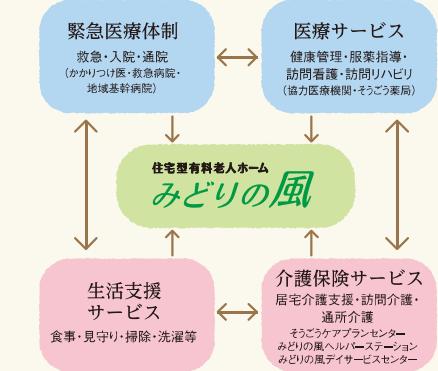
所在地	〒816-0941 大野城市東大利二丁目7-7
開設日	平成25年2月1日
施設類型	住宅型有料老人ホーム
契約形態	賃貸方式
構造・規模	鉄骨造3階建
居室数	42室(全室個室)
居室タイプ	18.00m ² 居室の主な設備 ベッド、緊急通報コール、洗面台、エアコン、トイレ(手すり付き、車椅子対応)

入居時の要件 概ね60歳以上で要介護の方
併設事業所 訪問介護事業所
運営主体 総合ケアンネットワーク株式会社

アクセスマップ



万が一の時も安心の 24時間サポート体制



西鉄下大利駅から徒歩2分の場所にオープンした、住宅型有料老人ホーム「みどりの風」。この施設を運営する「総合ケアンネットワーク(株)」は、医療機関や医師のトータルサポート、調剤薬局の運営など35年にわたって続けています。運営企業である「カネフ(株)」のグループ企業です。医療現場のすぐそばで、様々なサポートを行ってきた企業ですから、介護が必要な方々にとって本当に大事なことは何なのか、充分に知り尽くっています。住み慣れた「自宅」のような安心感、万が一の時も緊急対応できる24時間サポート体制、そして、真心こめたお付き合いをモットーとする家族のようなスタッフ。その全てが、入居者の皆さんの毎日を彩ります。

福岡県太宰府市 N様邸

生活時間の異なる

親子2世帯が、とともに 快適に住まえる住宅

早寝・早起きが普通の父母世帯。一方、ご主人の帰宅が遅くなった日は、夫婦の団らんも夜型になりがちで、育ち盛りのお子さんの世話も忙しい娘さん夫婦。2世帯住宅を建て、3世代同居することが決まってから、お母様・奥様が中心になつて、それぞれ気兼ねなく快適に住まうための間取り・デザインに知恵をしぼられたそうです。

最後の決め手になつたのは お子さんの楽しそうな笑顔

太宰府市の丘陵部に広がる住宅地に建つ、Nさんご一家の新居。この一帯は、昭和30年代から宅地造成が始まったエリアで、以前のNさん邸も、30数年前に建てられました。

戸建て住宅ですから、間取りや内装はやはり古く、耐久性に欠いても年代相応のレベルだったようです。そのため、20年ほど前に一度、キッチン回りを大幅リフォームしたものの、近年になって再び、「もう一度リフォームしようかしら」という話題が、ご両親の間で持ち上がりしました。

その頃、奥様（娘さん）はすでに嫁がれ、ご主人とお子さんの3人でマンション暮らしでしたが、「どうせリフォームするのなら、いつのこと新築して同居しようか」という意見が持ち上がり、ご主人も賛同されたことで、2世帯住宅のプランがスタートしました。お父様とご主人の「男性軍」は、

家の「デザイン等に強いこだわりはないタイプ」とのことでの住宅展示場の下見は、主にお母様と奥様の担当に。数カ所のモデルハウスを回った結果、Hitマリナ通り展示場にあった（当時）「ミルクリーク・ワインテージ」の、開放的な空間づかいに魅力を感じられました。

実は、最終候補として検討して

2世帯それぞれの 間仕切りを最小限にしつつ

いたメーカーが、ミルクリーク以外にもう1社あつたらしいのです

がお子さん連れでHit展示場を訪れた際、「レンガのおうち！」と大喜びで、モデルルーム内でも大はしゃぎだった様子を見て、ミルクリークに白羽の矢を立てられたのだそう。

快適に過ごせる間取りにする…

という点でした。

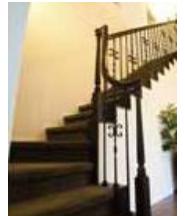
お父様・お母様は、早寝・早起きの規則正しい生活バターン。一方で、奥様は、ご主人が輸入車ディーラーにお勤めのため、帰宅時間がやや不規則で、元気イッパイのお子さんにも手がかかる多忙な毎日を過ごしておられますが、ご主人が遅い時間帯に戻られても、お父様・お母様に気兼ねなく、夕食を取ったりテレビを見たりできるよう。息子さんが小学校に入学し、やがてクラブ活動



ご両親の寝室とリビングと間に収納を兼ねた前室を配し、音が漏れにくいように配慮



ご夫婦の主寝室。モデルルーム並みにスッキリまとまっています



玄関から直接2階へ。天井までの吹き抜けが開放感を演出

室内をスッキリさせるため2階屋根裏を収納スペースとして活用

動などを始めたても、一家団らんのひとときを過ごせるように。また、2人目のお子さんに恵まれたら、2人分に仕切った子ども部屋を準備できるように。近い将来の色々なシーンを考慮しなが

り、2世帯それぞれの生活リズムがバランスよく干涉し合えるレイアウトを、有澤建設の担当

者も交えて何度も打ち合わせたそうです。

お母様と奥様が最も意識されたのが、Hit展示場で感じた屋内の開放感・重厚感をそのまま取り入れつつ、2世帯・3世代が快適に過ごせる間取りにする…



「フレックスルーム」という

家の発展性を生む

輸入住宅ならではの
快適性をス poyle 不い
範囲の計算された
間仕切り

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

さらに、ご両親の寝室とリビングは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

2階天井部までの吹き抜けが開放感を生む、Nさん邸の玄関。このまま、リビングダイニングまでを「ひと続きの大空間」として使うレイアウトも可能だったので、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのですが、あえてそうしなかったのは、お父様お母様の主寝室を配した1階とご主人・奥様の主寝室及び子ども部屋のある2階と1階とを分けたのです。

グダイニングとの間に収納を兼ねた小空間を置き、寝室側・リビング側の両方に扉を設けることでご主人が遅く帰宅してリビングで食事を取つても隣の寝室に音が漏れにくいよう工夫しました。展示場でミルクリークを見た瞬間、伸びやかな空間づかいと室内様のセンスに、輸入住宅ならではの快適性をを感じたという

お母様と奥様。その快適性をサポートしない範囲の、緻密に計算された間仕切りと言えるでしょう。

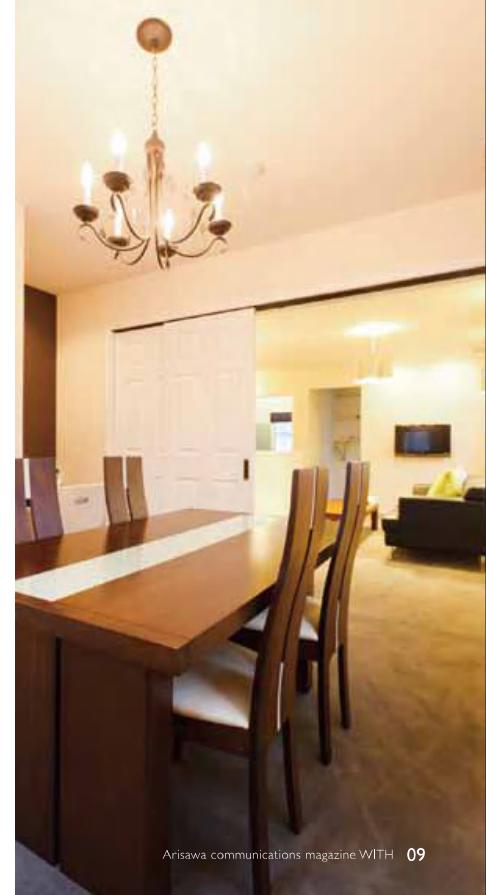
なお、キッチンは当初、アイランド型にする予定でしたが、友人などを自宅に招いた際、リビングからシンク周りが見えにくく角度にするため、また、お母様と奥様が動きやすいようにするため、「壁付型」に変更しました。旧住居のキッチン回りをリフォームされた際も、収納スペースを増やして動きやすくするのが目的だったのです。アイランド型や対面型のキッチンは、確かに「今ふう

ではありますが、スペース効率や収納効率の面では、壁付型の方が優れているのです。

用できるこうしたスペースをレバウトできるのも、屋内空間を贅沢に使う輸入住宅だからこそ、「デザイン・アイデイティティ」。また時には、新しい子ども部屋として間仕切りされる計画だそです。

もちろん、2階専用のトイレ。洗面も設えているので、家族揃っての団らんは1階のリビングダイニングで、それ以外は2階部で…と、2世帯が適度な距離をおいて生活できるよう配慮されています。

お子さんの遊び場として、ご夫婦の主寝室と子ども部屋がある2階。広めのフレックスルーム(右写真)を配することで、「ひと続きの空間」的に仕上げています。2番目のお子さんが生まれた時にはこのスペースを、新しい子ども部屋として間仕切りする計画だぞ



輸入メープル材の 無垢フローリングをはじめ ミルクリークらしい素材で

インポート物のフローリング床材やタイルの質感も、ミルクリークの豪華さ・重厚さを際立てる重要な要素。それら素材感は、Nさん親子がミルクリークを選んだ理由の一つです。特にお母様は、輸入シルバー・メイプルの無垢材が張られたフローリング床を歩かれた際、「我が家もこれと同じ床にしたい」と強く感じられたそう。

そこで、外壁のレンガや屋内タイル、無垢のフローリング材、階段手すりなど、多くの素材をミルクリーク・ヴィンテージのモルハースと同様にして、モルハースでの感動をそのままご自宅でも感じられるよう配慮されました。

また、キッチン回りをスッキリさせたり、2階部に広い空間を作ることで、随所に収納スペースを確保。時々しか使わないような大荷物を屋根裏に収納するここで、ミルクリークならではの屋内空間が最大限に活かされています。

輸入住宅ならではの
快適性をス poyle 不い
範囲の計算された
間仕切り



ミルクリークの「全館空調」の要となる
空調ダクト



ご両親の主寝室。お母様がモデルルームで気に入られた、輸入シルバー・メイプルの無垢材を用いたフローリング



トイレも広めに、スタイリッシュに仕上げ、生活快適性を向上させています



空間を塞がないことで、広さを感じさせるアイアン製の手すり。このあたりのデザインも、輸入住宅ならではの開放感と高級感を生む要素に

最新情報をHPで日々更新

選ばれる輸入住宅

北米式輸入住宅施工実績300件以上にこだわりはHPやブログでチェックしてください!

MILL CREEK ミルクリーク

スタッフブログも更新中!

RMEバーチャル住宅展示場福岡

マウスで簡単操作!
室内が360°見れます!

アールエムイー
RMEバーチャル住宅展示場福岡

360°見れる

RME展示場 検索

マウスで簡単操作!
室内が360°見れます!

アールエムイー
RMEバーチャル住宅展示場福岡

360°見れる

RME展示場 検索

ARISAWA TOPIC.1

TOPIC 1 社員旅行でリフレッシュ、銳気を養いました
社員全員が大阪を満喫！

昨年度の社員旅行は、お笑いの街・食い倒れの街、大阪へ向かいました。博多駅から新大阪駅まで新幹線で向かった後、大阪・東京で人気急上昇中の「つるとんたん」で、お洒落かきあげうどんを堪能。大阪水上バス（アクアライナー）に乗船して大阪城や旧跡を巡ってから、道頓堀では本場のたこ焼きで大満足。その後、5upよしもと劇場で若手芸人のライブを楽しむという“大阪づくし”で楽しみました。



ARISAWA TOPIC.2

TOPIC 2 マイホームを目指す、子育てママたちに大好評！
「リトルママ」イベントに、2度目のブース出展

育児情報誌「リトル・ママ」を発刊する(株)リトル・ママが先ごろ開催された「リトル・ママ フェスタ2013・春 with ママ Smile in 福岡」に、有澤建設も協賛企業の1社としてブースを出展いたしました。

イベント会場となったホテルオークラ福岡には、前回の同イベントを大幅に上回る、4000人近い子育てママが来場。ステージイベントや育児情報の交換、各社ブースで様々なお役立ち情報を入手するなど、大盛況でした。



子育て世代は「マイホーム検討世代」予想以上の反響でした

有澤建設ブースでは、キッチンタイマーなどのプレゼント付きアンケートを実施。輸入住宅に対する関心をお尋ねするアンケートに、1日で105件もの有効回答をいただくことができました。東急ハンズが出店したことで、福岡における「東急」ブランドも徐々に知名度が上がっているようですが、それ以上に、子育て世代のお母さん方が、「マイホーム」も真剣に考えておられる状況が判りました。こうしたアンケート結果を基に、有澤建設は今後も、お客様の関心に応えられるような広報活動を展開する計画です。



スマホのディスプレイクリーナーやキッチンタイマーなど、ちょっとしたプレゼント付きアンケートを実施。

東急ハンズの出店や「渋谷109」などで、東急ブランドの知名度は福岡でも向上しているようです。

**お子さん連れで参加できる
にぎやかなイベントに出展**

このイベントはリトル・ママ社が、子育て真っ最中のお母さん方の「子どもがいても気軽に出来たい」「ママ友と一緒に出来られるイベントはないかな?」といったニーズに応えるため開催したもの。有澤建設は同誌に、輸入住宅「ミルクリーク」の広告を掲載している縁で、前回の同イベントに続き2度目のブース出展となりました。会場内では、お子さんとお母さんが一緒に参加できるイベントや、お母さん方によるハンドメイドグッズの販売などが行われ、1日中大にぎわひでした。



お子さんの成長に合わせて間仕切りの変更ができるような、大空間の室内に興味をお持ちのお母さんが多かったようです。

有澤建設 員会活動 ↑

「技術提案・安全管理委員会」

一戸建て住宅から大型RC建造物まで、幅広い種類の建築物件を手がける有澤建設。建築物の規模が違えば現場の状況は大きく異なりますし、同規模の工事でも場所や建物の形状が違えば、やはり現場の状況は違ってきます。

そこで今回は、どのような現場状況でも工事水準の維持を図るための「技術提案・安全管理委員会」の活動を、委員長の日永田隆徳工務部所長に聞きました。

千差万別の現場状況に対応

高度な技術水準は、努力無しで維持できない



工事水準を均一にするため、工務部社員が顔を会わせ、各現場の情報を共有する。まず、「技術提案・安全管理委員会」とは、どのような活動を行なう委員会でしょうか。当委員会では現在、官公署の入札は総合評価方式が取り入れられているので、その中の技術提案の要求事項について技術面・仮設計画・安全面等を検討し、書類画面を作成するなどです。とは言え、建築物の規模や現場の立地が変われば、工事の難易度も変わります。現場が変わると工事のレベルまで変わる』といったことは、総合建設業として許されないことです。とは言え、建築物の規模や現場の立地が変われば、工事の難易度も変わります。又これにより各社員の意見を聞き、互いに知識を高めようようにして、各現場で生かすようにして、います。現場が変わると工事のレベルまで変わる』といつたことは、総合建設業として許されないことです。とは言え、建築物の規模や現場の立地が変われば、工事の難易度も変わります。

委

員

会

活

動

有澤建設



工務部 日永田 隆徳 委員長

技術提案・安全管理委員会の委員長を務める日永田氏。ご自身がベテラン工務部社員だけに、「慣れからくる油断」には常に注意をはらっておられるそう。

す。木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など構造体が違えば作業の進め方も多少は違っています。そこで、どのような物件・現場であっても一定以上の工事水準を維持するために、どのよくな取り組みが必要かを考えるのが私たちの委員会の役割です。若手から中堅、ベテランまでの工務社員が一体となり、有澤建設の高い技術水準を維持するための方策を検討しているわけです。

具体的な活動内容は

日永田 当委員会は現在、小野取締役（工務部長）を筆頭に11人の工務部社員が在籍しています。月1回のベースでミーティングと「安全パトロール」を実

日永田 「技術力」と「安全管理」は表裏一体だから、技術を伸ばし安全管理意識を高める。だから、技術を伸ばし「安全管理」が連ねられている理由は

「委員会名に『技術提案』と

「安全管理」が連ねられている理由は

「技術力」とは表裏一体だからで

「安全管理」が連ねられている理由は

「委員会名に『技術提案』と